令和３年度　家庭科　授業改善推進プラン

大田区立大森第四中学校

１　昨年度の授業改善推進プランの検証

（1）　成果

・全学年落ち着いて授業を進めることができた。

・コロナ禍の中でもできること（被服実習、ICT を活用した学習等）を精査し、取り組んだ。

・学習したことを「実生活に生かす」ことを意識させ、授業を実施することができた。

（2）　課題

・感染症対策をしたうえで実習等を行わなければならないので、教師だけではなく、生徒の意識向上に努める。

・実習の数を増やす。

２　授業改善のポイント（観点別）

＜知識・技術＞

・実生活で生かすことができる技術・技能の習得をできるようにする。家庭学習課題・実生活で活用できる物の製作・調べ学習・発表活動・近隣保育園との幼児交流等。

・３年間で調理の基礎・基本の習得を図る。感染症対策を実施したうえで、調理実習を行う。家庭で実習可能な課題を検討し、取り入れる。難しいものよりも、ご飯を炊く・味噌汁を作るなど調理の基本とされていることをしっかりと押さえさせる。

・布を用いた製作を、各学年で段階的に取り入れる（第１学年…ブックカバー製作、第２学年…トートバッグ製作、第３学年…幼児のための布絵本製作）。衣服の修復に必要な知識・技能を、３年間を通して身に付けさせる。

＜思考・判断・表現＞

・作品は、デザインを考えさせ、創造力の育成に努める。

・「自分だったらどうするか？」という視点で、自分事として考えさせる。MI を取り入れ、自分の得意な学習方法で学ぶ機会を取り入れる。

＜主体的に取り組む態度＞

・学習した成果を発揮できる場面多く設定するため、清陵祭での作品展示や作品発表会、レポート課題で自分の作品と向き合う時間をとる。

・授業の導入にパワーポイントや書画カメラを積極的に取り入れ、生徒の興味・関心を高めさせる。各学年、発表活動の際に書画カメラを使用し、自身の意見を拡大させるなど、教室全体への共有を意識させる。